

” 日能研へようこそ ”

* 「防犯力」をアップさせよう !!

子どもたちの防犯力とは、” なにか変んだな ”と感じる **力** であり、
そして、そう感じたら

{ すばやく
口もきかないで
いちもくさんに } その場から { 立ちさる
はなれる
にげる } **力**
であると見つけたり〜。

大人（おとな）たちは、多くの人たちと協力（きょうりよく）し
あって、パトロールをしたり、街（まち）をきれいにしたりして、
犯罪（はんざい）をおかす **スキ** をつukらないように活動（かつどう）
をつづけています。

けれども、それらの監視（かんし）活動の目をくぐりぬけた犯人（はん
にん）と直接（ちよくせつ）向（む）きあうのは、一人になったときの
子どもたちなんです。 防犯力をみがくことは、とても大事です。



* 「防犯力」をアップさせる五つのポイント

1 不審者への注意（ちゅうい）

- ▲ しらない人なのに、なれなれしく話しかけてくる人に対して
- ▲ 親切（しんせつ）をむりやり押（お）しつける人に対して
- ▲ 人目（ひとめ）のつかないところにさそう人に対して

2 登・下校（塾（じゅく））・遊（あそ）び中の注意

- ▲ 友だちといっしょに行動（こうどう）する
- ▲ 公園（こうえん）などのトイレには、一人で行かない
- ▲ 明るくて、人の多い道をえらぶ

3 自動車からの声（こえ）かけに注意

- ▲ だまって、むしして走ってはなれる
- ▲ 車のすすむ方向（ほうこう）と反対（はんたい）方向（ほうこう）にげる

4 防犯グッズへの注意

- ▲ 自分（じぶん）で「変んだな」と感じたら、すぐにNブザーをおす
- ▲ こしょうなどの点検（てんけん）をしておく

5 その他の注意

- ▲ あいさつは、ふだんから元気（げんき）よくしておく
- ▲ 家の人との連絡（れんらく）は、しっかりとりあう
- ▲ 交番、110番の家、スーパーなどの、かけこめるところ
を頭（あたま）に入れておく

参考になっている文献

「割れ窓理論による犯罪防止」小宮信夫監修、博文社 「地域の防犯」竹花豊監修、北大路書房
「子どもたちを救おう」竹花豊、幻冬舎 「都市の防犯」小出、樋村、北大路書房、 「犯罪不安
社会」浜井、芹沢、光文社新書 「こうすれば犯罪を防げる」(環境犯罪学入門) 谷岡、新潮選書